

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

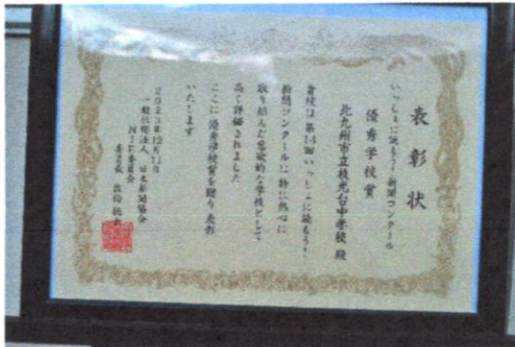
【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

第14回「いっしょに読もう！新聞コンクール」 枝光台中学校 優秀学校賞を受賞しました。



日本新聞協会主催の第14回「いっしょに読もう！新聞コンクール」において本校が「優秀学校賞」（全国）をいただきました。日本新聞協会によりますと、全国から団体応募には503校あり、優秀学校賞を小・中・高校各5校の合計15校、学校奨励賞177校が選定されています。枝光台中学校のNIE（Newspaper in Education＝「エヌ・アイ・イー」と読みます）の取組が全国の5校の中に選ばれました。なお、福岡県NIE推進協議会から本校の実践に対して「福岡県学校賞」をいただきました。

NIEの取組は、学校などで新聞を教材として活用する活動で1930年代にアメリカで始まり、日本では1985年、静岡で開かれた新聞大会で提唱されました。その後、教育界と新聞界が協力し、社会性豊かな青少年の育成や活字文化と民主主義社会の発展などを目的に掲げて、全国で展開しています。（日本新聞協会のHPから）

枝光台中学校では、7年前より一週間分の新聞のコラムを読んで感想を週明けに提出する取組を続けています。また、子どもと保護者が同じ話題で話ができるようにと、生徒の書く感想には保護者も一言を書く欄を設けています。こうした活動を長年続けていることが評価されて、今回全国レベルの表彰をいただくことになりました。

今回の新聞コンクールでは、本校生徒の「新聞を読んだ感想文」も提出しました。その中から3年生の上杉果奈さんの作品が、福岡県奨励賞に選ばれました。県全体で6135編の応募作品の中からの受賞となりました。

今後もこの活動を続けて「生徒の社会への関心や読解力の向上につなげていこう」と考えています。これからも保護者の皆さまのご協力をお願いいたします。

読書の習慣を身に着けよう

読書をする「集中力」がつくと言われます。好きな本に出会ったとき、誰しもその内容に引き込まれ気がついたら時間がたっていったという経験があると思います。また、他人の考えにふれることができ「人の気持ちが理解できる」ようになります。子どもの頃に読書量の多かった人は、大人になってコミュニケーション力が高く社会性も備わっていくともいわれています。学校でも年に二回読書週間を設けておりました、図書館も毎年新刊本や子どもが読みやすい本の購入に努めています。ぜひ読書の習慣を身に着けてください。

